

平成24年度事務事業評価表(平成23年度振り返り)

政策名		地球環境にやさしいまち		施策番号・名	14	水と緑にふれあうまちづくり		基本事業番号・名	14-01	水辺環境の保全と活用											
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (25年度に向けた方向性等)			
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等			特定財源に伴う一般財源			一般財源		
	事務事業名			①	②	①+②	①	②	①+②	①	②	①+②	事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等					
14-01-01	環境政策課 みどり公園担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 環境基本法 (市) 環境基本条例 (市) 湧水等の保護と回復に関する条例 (市) 環境基本計画 (市) 緑の基本計画	対象 市民、自然環境 手段・内容 水位・水質観測	湧水数	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄：さらなるコスト削減は難しい状況となっている。事務事業は調査内容を含め継続実施するが、調査内容等の精査を加えた上で市民、団体の理解と協力を得られるよう分かりやすい情報提供をしていく。	説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 157 説明欄：さらなるコスト削減は難しい状況となっている。事務事業は調査内容を含め継続実施するが、調査内容等の精査を加えた上で市民、団体の理解と協力を得られるよう分かりやすい情報提供をしていく。	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 112 説明欄：さらなるコスト削減は難しい状況となっている。事務事業は調査内容を含め継続実施するが、調査内容等の精査を加えた上で市民、団体の理解と協力を得られるよう分かりやすい情報提供をしていく。	
	環境政策課長 浦山 和人				27	27	0	157	197	354	平成22年度	平成22年度	平成22年度				平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度
	湧水地調査事業				27	27	0	112	197	309	平成21年度	平成21年度	平成21年度				平成21年度	平成21年度	平成21年度		平成21年度
	事業形態				27	27	0	228	201	429	平成21年度	平成21年度	平成21年度				平成21年度	平成21年度	平成21年度		平成21年度
14-01-02	施設管理課 道路河川施設担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 東京都と市が「河川維持業務の委託に関する協定」を締結	対象 市民 手段・内容 河川管理者(東京都)との河川維持業務の委託に関する協定に基づく河川区域内の清掃、除草、植栽管理及び軽微な補修	いこいの水辺面積	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄：河川管理者(東京都)との協定に基づき事業を執行しているため、事業内容等の改善するよりも、事業費に対する補助金額(H23は12,620千円、H22は11,860千円、H21は12,360千円)を増額するよう要望すべきであり、事務事業としては今後も継続する必要がある。 照明設備の補修、電気料金については、協定外であり、一般財源で補填する必要がある。	説明欄： 河川維持業務の委託に関する協定外の照明設備の補修費及び電気料金	平成23年度	平成23年度	平成23年度	説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 1,761 説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 1,937 説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 1,555		
	施設管理課長 古澤 毅彦				23,341	10	10	14,381	9,247	23,628	平成22年度	平成22年度	平成22年度			平成22年度	平成22年度	平成22年度			
	いこいの水辺事業				23,341	9	9	13,797	10,273	24,070	平成21年度	平成21年度	平成21年度			平成21年度	平成21年度	平成21年度			
	事業形態				23,341	13	13	13,915	10,464	24,379	平成21年度	平成21年度	平成21年度			平成21年度	平成21年度	平成21年度			
14-01-03	環境政策課 みどり公園担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 環境基本法 (市) 環境基本条例 (市) 湧水等の保護と回復に関する条例 (市) 環境基本計画 (市) 緑の基本計画	対象 市民、宅地の所有者への浸透施設補助金 手段・内容 浸透ます設置者に対する補助金制度	対象宅地	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄：市宅地等開発条例に基づく宅地開発の場合は、雨水浸透施設は設置されている。既存住宅への設置についての補助であるが、ここ3年は増えてはきているものの、数年前から比べると施設を設置する希望者が減っている。未設置の世帯を調査し、市民等と協働する中で、市民への自然環境に対する理解と協力及び啓発を図る必要がある。市民環境会議と連携し、事務事業は事業の見直し等を図り、継続実施する。	説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 511 説明欄：市宅地等開発条例に基づく宅地開発の場合は、雨水浸透施設は設置されている。既存住宅への設置についての補助であるが、ここ3年は増えてはきているものの、数年前から比べると、施設を設置する希望者が減っている。未設置の世帯を調査し、市民等と協働する中で、市民への自然環境に対する理解と協力及び啓発を図る必要がある。市民環境会議と連携し、事務事業は事業の見直し等を図り、継続実施する。	平成23年度	平成23年度	平成23年度	説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 271 説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 190		
	環境政策課長 浦山 和人				10	20	100	511	197	708	平成22年度	平成22年度	平成22年度			平成22年度	平成22年度	平成22年度			
	雨水貯留浸透施設設置補助事業				4	7	100	271	197	468	平成21年度	平成21年度	平成21年度			平成21年度	平成21年度	平成21年度			
	事業形態				3	3	100	190	201	391	平成21年度	平成21年度	平成21年度			平成21年度	平成21年度	平成21年度			
14-01-04	施設管理課 管理調整担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 都内の河川の氾濫、いっ水による災害を防止して住民の福祉を増進するため、これら河川改修事業の早期達成を要望し、その実現に協力することを目的として都内における全ての自治体により結成されている。	対象 東京都河川改修促進連盟 手段・内容 ・国、都、国会議員への要請行動 ・促進大会の開催 ・治水事業全国大会へ出席	東京都河川改修促進連盟	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄：東京都河川改修促進連盟は河川を有している加入団体19区22市2町1村で共同歩調をとっている連盟であり、当局単独での改善・改革の余地は無い。河川整備は今後も継続的に行う必要がある。本事業は、道路占用料等(108千円)により財源充当されている。	説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 108 説明欄：東京都河川改修促進連盟は河川を有している加入団体19区22市2町1村で共同歩調をとっている連盟であり、当局単独での改善・改革の余地は無い。河川整備は今後も継続的に行う必要がある。本事業は、道路占用料等(108千円)により財源充当されている。	平成23年度	平成23年度	平成23年度	説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 55 説明欄： 24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 55		
	施設管理課長 古澤 毅彦				1	2	2	108	1,285	1,393	平成22年度	平成22年度	平成22年度			平成22年度	平成22年度	平成22年度			
	東京都河川改修促進連盟参画事業				1	2	2	55	1,427	1,482	平成21年度	平成21年度	平成21年度			平成21年度	平成21年度	平成21年度			
	事業形態				1	2	2	55	1,454	1,509	平成21年度	平成21年度	平成21年度			平成21年度	平成21年度	平成21年度			

平成24年度事務事業評価表(平成23年度振り返り)

政策名		地球環境にやさしいまち		施策番号・名		14		水と緑にふれあうまちづくり		基本事業番号・名		14-01		水辺環境の保全と活用									
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (25年度に向けた方向性等)					
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	特定財源に伴う一般財源		一般財源							
	事務事業名													事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等						
14-01-05	施設管理課 道路河川施設担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (市) 公共物管理条例	対象 自然物(河川・水路)	指標	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 説明欄: 河川、水路については、市民からの要望として清掃、草刈り、浚渫、補修等が多く、外部委託により管理を行っており、今後も存続する必要がある。また、本事業の一部について、公共物占用料(河川占用許可事務730千円)を充当している。	平成23年度	説明欄:	平成23年度	24年度以降方向性	現状維持	25年度以降方向性	現状維持				
	13,810 (m)				41 (回)	41 (回)	9,736	1,028	10,764	9,736	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4												
	平成22年度				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度					平成22年度	平成22年度	9,982	1,142	11,124	9,982	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	
	13,810 (m)				44 (回)	44 (回)	12,896	1,163	14,059	12,896	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4												
14-01-06	施設管理課 管理調整担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (市) 公共物管理条例	対象 ・自然物(河川、水辺)の利用者	指標	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 説明欄: 市民の財産を守るための工作物等の河川占用であり、市(河川管理者)の責務である。また、条例に基づく事業であり、市の管理する河川、水路を原状に復旧させることにより安全、快適に維持するために必要不可欠である。なお、H24年度より占用料の見直しを行った。	平成23年度	説明欄:	平成23年度	24年度以降方向性	現状維持	25年度以降方向性	現状維持				
	47,338 (m)				16 (件)	16 (件)	721 (千円)	0	4,452	4,452	0					必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4							
	平成22年度				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度					平成22年度	平成22年度	730 (千円)	0	4,947	4,947	0	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4
	47,338 (m)				16 (件)	16 (件)	749 (千円)	0	5,038	5,038	0					必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4							
14-01-07	施設管理課 管理調整担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 荒川水系新河岸川並びに、新河岸川支流流域における住民の生命と財産を守ることを目的として結成されている。	対象 ・新河岸川水系改修促進期成同盟会	指標	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 説明欄: 新河岸川水系改修促進期成同盟会は加入団体(埼玉県下10市1町、東京都下3市)による共同歩調運営にて、河川氾濫、溢水による災害を防止、河川改修事業の早期達成を要望、河川改修による水辺環境整備の早期実現等を要望する同盟会であり、当市単独での改善・改革の余地は無い。本事業は、道路占用料等(21千円)により財源充当されている。	平成23年度	説明欄:	平成23年度	24年度以降方向性	現状維持	25年度以降方向性	現状維持				
	1 (団体)				4 (回)	4 (回)	21	257	278	21	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3												
	平成22年度				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度					平成22年度	平成22年度	4	286	290	4	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3	
	1 (団体)				4 (回)	4 (回)	21	291	312	21	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3												
14-01-08	施設管理課 管理調整担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 東京都内における総合的な治水対策を推進することを目的として結成されている。	対象 ・東京都総合治水対策協議会	指標	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 説明欄: 東京都総合治水対策協議会は、東京都と区市町村56団体で共同歩調をとっている協議会であり、東京都内における総合的な治水対策の推進のための計画策定、総合治水対策について住民の関心を高め、理解と協力を得るための行事を実施しており、当市単独での改善・改革の余地は無い。なお、本事業は、道路占用料等(50千円)により財源充当されている。	平成23年度	説明欄:	平成23年度	24年度以降方向性	現状維持	25年度以降方向性	現状維持				
	1 (団体)				4 (回)	4 (回)	50	857	907	50	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3												
	平成22年度				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度					平成22年度	平成22年度	4	952	1,002	4	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3	
	1 (団体)				4 (回)	4 (回)	50	969	1,019	50	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3												

平成24年度事務事業評価表(平成23年度振り返り)

政策名		地球環境にやさしいまち		施策番号・名		14		水と緑にふれあうまちづくり		基本事業番号・名		14-01		水辺環境の保全と活用									
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乘、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体						一般財源分				全庁評価会議 (25年度に向けた方向性等)			
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等				特定財源に伴う一般財源		一般財源				
	事務事業名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) (千円)	人件費 (理論値) (千円)	トータル コスト (千円)					事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等					
14-01-09	施設管理課下水道計画係	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 下水道法第1条、第3条、第26条・新世代下水道支援事業制度	対象 河川 手段・内容 黒目川2号雨水幹線築造工事 意図 下水道施設として河川を整備し且つ、水に親しむ水辺空間を設ける。	平成23年度	2,300 (m)	平成23年度	60 (m)	平成23年度	64 (%)	平成23年度	25,908	平成23年度	1,301	平成23年度	27,209	24年度以降方向性 現状維持 25年度以降方向性 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄：平成19年度からAゾーンの整備を開始し、平成24年度でAゾーンの整備が終了する。平成23年度は長福橋～越処橋間60mを整備した。今後は新所沢街道北側のCゾーンの整備に着手予定である。良好な水辺環境の創造や浸水被害の解消等のまちづくりの整備に市が関与するのは妥当である。	平成23年度	説明欄：事業費の1/2(河川区域)1/3(景観区域)が国の交付金。その補助基本額の2.5%が都費。各事業費から交付金、都費を引いた額の90%が起債。残りが一般財源となる。		平成23年度	24年度以降方向性	25年度以降方向性	説明欄： 必要性 有効性 達成度 効率性
	施設建設担当課長 小島 信行			平成22年度	2,300 (m)	平成22年度	106 (m)	平成22年度	61 (%)	平成22年度	52,760	平成22年度	2,378	平成22年度	55,138	平成22年度	37,473	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	
	黒目川上流域親水化事業			<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 <input type="checkbox"/> 市独自上乘せ(上乘・横出) <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	平成21年度	2,300 (m)	平成21年度	166 (m)	平成21年度	56 (%)	平成21年度	45,255	平成21年度	2,724	平成21年度	47,979	平成21年度	36,070	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	